

2022年9月9日

コロナ禍におけるフード業界の雇用実態と今後の展望

－2019年7月度～2022年7月度アルバイト・パート募集時平均時給調査より－

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の調査研究機関『ジョブズリサーチセンター（JBRC）』（<https://jbrc.recruit.co.jp/>）が、フード業界の賃金状況と雇用実態および今後の展望についてまとめましたので、ご報告致します。

■ 解説： フード業界は再び人材の確保が急務に



ジョブズリサーチ
センター長
宇佐川 邦子

アルバイト・パートの募集時平均時給は昨年後半から上昇を続けており、特にフード系の動きが顕著になっています。そこで、本レポートではフード業界の動向について、募集時平均時給調査と現場情報を元にお知らせします。

○ コロナ禍におけるフード業界の雇用動向

フード業界では、コロナ前にも人材不足で平均時給の増加傾向が続いていました。コロナ禍においては、初の緊急事態宣言を受けて2020年5月度に平均時給が大幅に減少しましたが、2021年後半にはコロナ前の水準まで回復し、直近の2022年4月～7月は4カ月連続で過去最高を更新しています。

通常3・4月は学生などの人材の入れ替わりにより求人が増加し、5月には減少しますが、今年は5月に入っても求人数は維持。採用ニーズが回復してきた一方で、自社サイトだけでも採用人数が足りていた企業が、求人媒体を利用しないと足りなくなっているといった例も聞かれ、人材不足の状態に戻ったと言えるでしょう。

○ 今後の見込み

フード業界の人材不足は、今後さらに深刻化すると予想されます。コロナ禍によってフードの仕事から離れてしまった人材が存在するほか、インバウンドの回復を見越して宿泊・レジャー施設などでの人材需要が高まりつつあり、他業種との人材獲得競争も始まっています。当面の動きとしては、10月の地域別最低賃金の改定による時給アップや、12月の繁忙期に向けた採用強化が見込まれるでしょう。

○ フード業界と人材の重要性

そもそもフード業界は従業員のアルバイト・パート比率が約8割^{*}と高く、アルバイト・パート人材の確保がビジネスの行く末に直結します。しかし、労働力人口の減少やコロナ禍で生じた行動制限の影響を受けやすいといったイメージなどにより、フード業界における人材確保はより難しくなっています。ITの導入を進めるなど業務改革が進み始めた一方で、従業員の働く仕組みや雇用のミスマッチ改善についても再考する必要があるでしょう。そのようにしてフード業界で生産性が向上すれば、宿泊業など他のサービス産業全体を変える原動力にもなり得ると考えられます。（^{*}労働力調査2021年平均より算出。77.3%。）

○ フード業界の人材不足の要因

現在のフード業界の人材不足の原因は、大きく2点あると考えます。

2022年9月9日

1点目は、「質のミスマッチが大きい」という点です。感染リスクへの配慮やオンライン化により、現場での教育はどうしても限定的になっています。このため即戦力になる人材を募集したいところですが、フード業界で就業していた人材の多くは、シフトに入れなかったことが起こったコロナ禍に、他業界ですでに仕事を始めています。経験がありフルタイムで働ける人材の確保は、これまで以上に難しくなっています。

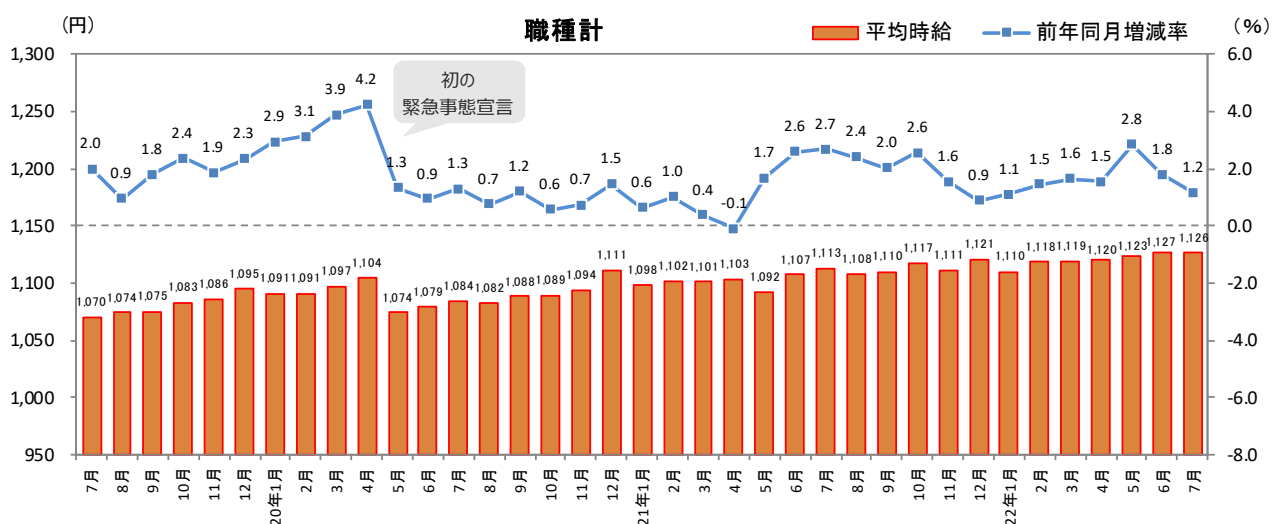
2点目は、「自然減」という点です。コロナ禍の約2年間、フード業界では行動制限などの影響を大きく受けたことにより、企業は採用を控えてきました。また、リモート授業が増えたことで大学生アルバイトの就業エリアが変化したり、家族の感染予防のために主婦が一旦離職してしまったりということも見られました。約2年間に渡る欠員を一気に確保することは難しく、今後も一定の時間を要すると思われます。

今後、人材不足に対応していくには、雇用のミスマッチを防ぐ手立てを実施している企業例などに目を向け、自社で取り入れられるものから取り入れていくという視点が必要になってくると考えます。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

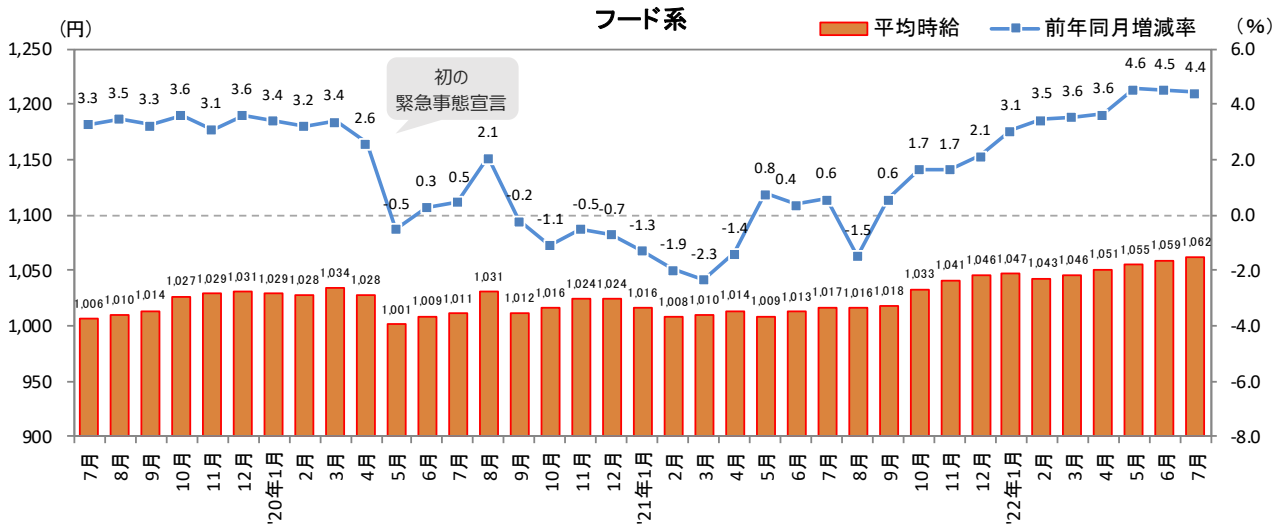
■ 職種全体 三大都市圏（首都圏・東海・関西）平均時給推移



まず、職種全体における動きを見ておきます。2022年7月時点において、三大都市圏のアルバイト・パート募集時平均時給はコロナ影響をほぼ脱し、増加傾向に入っていると言えるでしょう。2020年4月度の1,104円が同5月度には1,074円に減少しましたが、少しずつ回復し、2021年6月度に1,107円となって以降は、コロナ前の水準を上回っています。2022年6月度は過去最高の1,127円となりました。

2022年9月9日

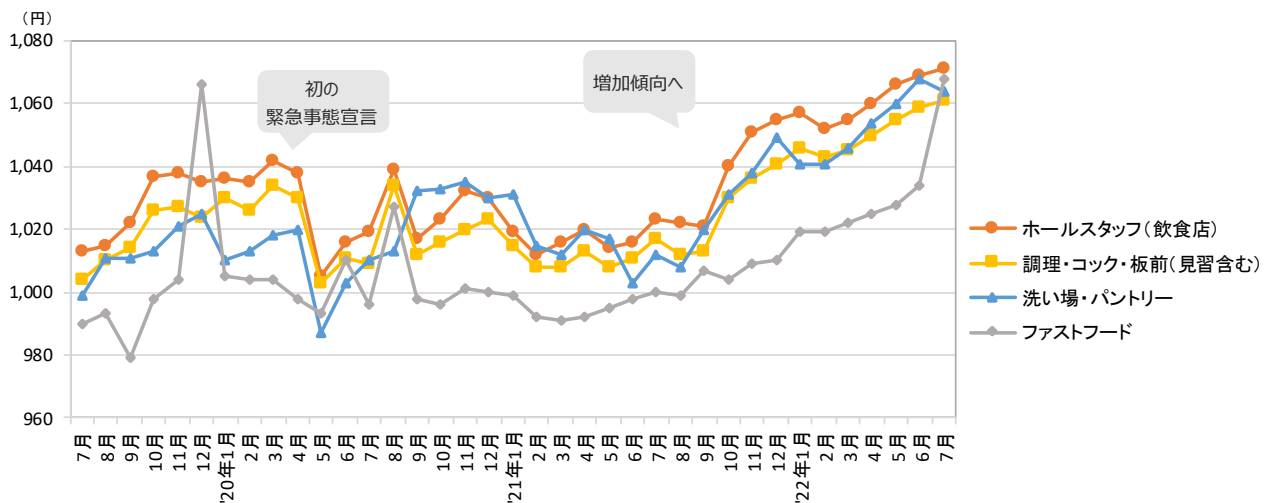
■ フード系 三大都市圏（首都圏・東海・関西）平均時給推移



フード系における募集時平均時給は、他職種に比べてコロナ影響が長く続きましたが、全体と同様に増加傾向に転じています。2020年4月度の1,028円が同5月度には1,001円まで減少しましたが、2021年10月には1,033円に回復。それ以降ほぼ毎月増加を続け、2022年4月～7月は4カ月連続で過去最高を更新しました。

今後も人材不足の過熱や地域別最低賃金の改定を背景として、当分の間は募集時平均時給が下がる要素がなく、増加傾向が続くものと予想されます。

■ フード系職種小分類別 三大都市圏（首都圏・東海・関西）平均時給推移



フード系の募集時平均時給推移をより細かい職種で見ても、全体および大分類と同様の増加傾向となっています。「ホールスタッフ（飲食店）」、「調理・コック・板前（見習含む）」、「洗い場・パントリー」はほぼ同じ動きをしており、2021年10月頃から平均時給が回復し、上昇を続けています。「ファストフード」は少し違う動きですが、やはり2021年後半から増加傾向となっています。（※「パン職人・パティシエ」「食品製造・販売」「その他」は割愛。）

2022年9月9日

■ フード業界の現状

募集時平均時給が上昇を続けている中、8月上旬時点におけるフード業界の現場状況について全国の弊社担当者からの定性情報を元にまとめました。「採用を再開した」、「募集しているが苦戦している」、「まだ採用再開をためらっている」など、状況はさまざまであることが見て取れますが、全体的には採用意欲は回復、現状のスタッフ未充足の状況から、今後に向けて人手確保を急ぐ様子も見られます。

○ 第7波の影響

第7波の影響を危惧しつつも、コロナ禍以降の人手確保の難しさから、引き続き人材確保に努める店舗が多い

- ・ 従業員の感染等で営業に影響が発生。従業員やその家族の感染によって急な欠員が発生する、学校による行動制限で学生が稼働できない、などから夏休みのシフトが決められないなどの影響があった。(九州)
- ・ 客数の多い店舗を所有しているため、第7波の影響にかかわらず人材が確保できるタイミングで確保したい。(中国)
- ・ 時短営業解除後から、毎月ホールスタッフの欠員人数が増えている。インバウンドの受け入れ再開に応じて客足が増加する見込みのため、人員確保を強化したい。(首都圏)
- ・ 採用意欲は高まっている一方、まだ先行きが分からないため、募集を最小限に抑える動きも。(中国)
- ・ 週末のみ勤務など、ピンポイントでの採用を行っている。(九州)

○ 採用意欲の回復および早期化

行動制限のないGWおよびインバウンド再開への期待により採用意欲は回復傾向。求人再開も人手の未充足が長引いており、今後の繁忙期に向けて求人者の早期化が見込まれる

- ・ コロナ影響が落ち着き、お盆までの人員確保を急いでいる。(中国)
- ・ 夏の繁忙期に向けて、春から9月頃まで期間限定手当を出すなどの対応を取っている。(複数情報あり)
- ・ 今年は3月末における、大学4年生の卒業の欠員分が埋まり切っておらず、5月以降引き続き募集する。(複数情報あり)
- ・ 10月の社会保険適用拡大に向け、1店舗当たりのスタッフ数を増やし、未充足シフトを減らしたい。(九州)
- ・ 12月の繁忙期に向けて採用活動を強化。(首都圏)
- ・ 秋のうちに人材を採用し、年末の忙しい時期までに育成して戦力になってほしい。(北海道)
- ・ 以前の時短営業で夜間のアルバイトスタッフを減らし、通常営業に戻ったので再び人を募集しているが、なかなか採用できない。(東海)

■ 人材確保に向けた、新たな求人事例

人材確保を急ぐ企業が多い中、賃金アップは一つの募集手法になりますが、経営への影響も否めません。こちらでは求職者のニーズをくみ取ったことで募集内容を変更し、大幅に応募数が増えた企業の求人事例をご紹介します。ポイントは、人材と業務の最適化を図る「時間（業務）の切り出し」と、求職者の働き方のニーズを汲んだ「採用ターゲットの設定」にあります。

2022年9月9日

○ 時間切り出し×採用ターゲットを明確化／早朝の朝食準備だけの求人を作り、シニア求職者へ訴求

【企業名】 コンパスグループ・ジャパン株式会社
【求人】 受託先企業における調理補助／アルバイト
【課題】 採用強化しているものの、応募数が思ったように集まらず計画通りに進まなかった

<before>

- ・早朝の朝食準備～夕食の片付けまでの稼働時間全体で募集、その中で1日○時間OKといった表記
- ・採用ターゲットは絞ることなく全体的に募集

【打ち手】 早朝の時間の業務を切り出し、採用ターゲットをシニアへ絞り込んで募集

<after>

- ・事業サイクルに支障のない、業務シフト切り出しを設計
- ・早朝に求職ニーズの高いシニア層を採用ターゲットとして選定
(朝の時間の有効活用、体にもいい、同年代が活躍中の事実を記載)
- ・シニア層に訴求した原稿設計へ変更

【効果】 応募数 8 → 29 人に増加

① 時給1150円以上 ② 交通費規定支給
③ 資格不要・家事より簡単
④ 盛り付け ⑤ 配膳 ⑥ 洗浄 など
⑦ 仕事は単純でもやりがいを感じる仕事です
⑧ ご希望の店舗をお伝え下さい！>

朝の時間を有効活用!! 健康の維持にも◎
老人ホームの「食」に携わることがやりがい
ミドル・シニア世代が活躍中!

6:00～10:00(1日2～4時間)
★～8:00、～9:00もok! 終了時間調整可
★平日と土日どちらか1日含む3日～/週
★自己申告制だから予定も立てやすい◎
⑨ 学歴・経験不問、未経験歓迎、経験者優遇
⑩ 制服貸与 ⑪ 車通勤可(駐車場有)
⑫ まかない1食270円…一汁三菜と栄養
バランスの良い食事を食べられます!
⑬ フードサービス事業
コンパスグループ・ジャパン(株) <2店舗合同募集>

資格は一切不要!
ブランクのある方も歓迎
ミドル・シニアが活躍中
体に無理なく働く
週3日程度の勤務でOK



■ アルバイト・パート募集時平均時給調査 調査概要

当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『fromAnavi』に掲載された求人情報より、「アルバイト・パート」募集の求人情報を抽出し、募集時平均時給を集計した。 ※各数値は四捨五入している。

<集計対象件数(全国)> 2022年7月度 85万9,087件

※当該件数は平均時給調査に際して集計した求人の件数であり、集計対象とする求人メディアに掲載されている求人の総数ではない。当該件数を用いてその他の月の集計対象件数と単純比較することはできないため注意が必要。

※各月の集計対象件数は過去のリリース資料を参照。

<集計対象期間> 2019年7月度～2022年7月度 毎月1日～末日掲載分

<集計対象職種について>

対象媒体に掲載される求人情報より、大分類を以下の通りとした。

販売・サービス系 / フード系 / 製造・物流・清掃系 / 事務系 / 営業系 / 専門職系 / その他

<エリア区分について>

対象媒体に掲載される求人情報記載の所在地に準拠し、以下の通りとした。

- ・首都圏 : 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
- ・東海 : 愛知県、三重県、岐阜県、静岡県
- ・関西 : 大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県